

## 岡山理科大学獣医学部誘致に関する公開質問状に対する回答

獣医学部誘致問題シンポジウム実行委員会 様

今治市長 菅 良二

### (質問)

- 第1 獣医学部新設に関し、今治市は安倍首相の「国家私物化」に深く関与していたのではないかという疑惑を晴らすために、明確な説明と情報公開ができるか。国会の証人喚問に応じると表明できるか。

### (回答)

- ・ 本市における大学獣医学部の誘致は、昭和50年に学園都市構想を表明して以来、5代にわたる市長が目指してきた40年来の悲願です。獣医学部の新設は、50年にわたり認められていなかった厚く固い岩盤規制であり、これを突破するため、愛媛県と連携しながら平成19年から15回にわたる構造改革特区提案に続いて、国家戦略特区提案を行ったもので、国政に関与するものではありません。
- ・ 説明や情報公開につきましては、まずは市民の代表である市議会議員に対して、しっかりと説明させていただき、昨年度だけでも16回にわたる議論を重ねています。
- ・ また、市民説明会を4月11日に開催し、300人を越える方々のご参加をいただきました。今後、第2回目以降の説明会等については、文科省の認可後、大学と連携して開催したいと考えています。  
また、広報や市のホームページでも、国家戦略特区の取組について、関連資料などを掲載し、市民の皆様へお伝えする情報の充実に努めています。

(質問)

第2 学校法人加計学園の経営実態や教育実態を調査しているか。

(回答)

- ・ 経営実態につきましては、法人の平成28年度決算において、経常収支は約7千130万円の黒字であり、過去4年間でも、黒字を維持し、監査法人による監査を受けていますので、特に問題ないと考えています。  
また、大学設置・学校法人審議会においても、財務面での審査を受けて、認可されますので、将来計画についても経営に問題ないと判定されるものと考えています。
- ・ 教育実態につきましては、ライフサイエンス分野、公共獣医事分野、医獣連携獣医分野の3分野で活躍できる獣医師を養成することになっておりますので、適切であると思われます。

(質問)

第3 加計学園の示した工事費192億円は精査し検証したのか。入札はされたのか。

(回答)

- ・ 建設費の妥当性につきましては、建築の専門部署において、図面と工事費内訳書の整合性、単価や数量の妥当性などを精査し、建屋工事の坪単価は約80万円、高度な研究設備等によってトータル坪単価が約126万円と確認し、他の大学や病院等の建築単価と比較しても高額ではなく、内容にも問題は無かったと報告を受けています。
- ・ 入札は行われています。

(質問)

第4 基本協定は守られていると思うか。今治市の税収が毎年どれだけ増えると計算しているのか。

(回答)

- ・ 建設工事の元請企業は学園において入札を行った結果ですが、下請業者、資機材の納入、技能労働者等、地元を活用しており、経済波及効果は見込まれると考えています。

なお、今後の大学運営の中で、食堂の運営事業や、学内の教育研究に必要な消耗品、施設設備の維持に必要なメンテナンス品の納入、清掃業者等、地元企業の活用も見込まれています。

- ・ 上記の大学運営において毎年約20億円程度の経済波及効果を見込んでおり、これに基づく税収効果としましては、毎年約3,000万円程度と試算しています。

(質問)

第5 加計学園の大学を誘致した自治体の実態を調査や視察したことはあるのか。市長は生涯をかけて市民に責任を果たしていくことを約束できるか。

(回答)

- ・ 国家戦略特区の制度を活用して、38年振りの医学部新設として本年4月に開学された成田市の事例を参考にしました。

(柳澤学長への質問)

第6 病原菌対策は大丈夫か。BSL4という危険度の極めて高い病原体まで扱うのではないのか。

(市長と柳澤学長への質問)

第7 校舎建設費の積算根拠を具体的で詳細な公開ができるか。積算根拠の公開をしぶっているのはなぜか。

- ・ 今治市大学立地事業費補助金交付要綱第4条におきまして、補助金の交付対象となる経費は、補助事業に要する経費のうち、文部科学大臣に申請する私立学校法施行規則第2条第1項第6号に定める「経費の見積り及び資金計画を記載した書類」に記載する設置経費と規定しており、その額が192億1,348万4千円です。
- ・ なお、公平公正な立場でご意見を頂く第三者機関を設置して、その結果を公表する予定です。